

事業概要表（草の根パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ヨルダン・ハシェミット王国
2. 事業名	社会性育成を主眼に置いた特別活動実践と体制構築事業
3. 事業の背景と必要性	ヨルダンには、2011年のシリア紛争以降、多くのシリア難民が流入、現在約66万人（UNHCR、2016年11月時点）が生活、うち約8割は難民キャンプ外のホストコミュニティで暮らす。子どもたちは二部制校（午前ヨルダン人、午後シリア人）に通うが、シリア人とヨルダン人の生徒間で軋轢が生じている。しかし、学校では、他者理解や協調性を高める取り組みが十分と言えない。異なる国籍の子どもらが共に学び、他者理解や協調性、規範意識といった社会性を高めることを目指し、学校の現場において、特別活動の実践とその実施体制の構築が不可欠となっている。
4. プロジェクト目標	ヨルダン、アンマン市内のシリア人生徒の多い公立学校が、他者理解、規範意識、協調性などの社会性を育む特別活動を自立的に実施できるモデルが構築される。
5. 対象地域	アンマン市
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	アンマン市の2教育局の職員2名、2教育局が管轄する公立学校（1年生～10年生）計12校、直接受益者：校長12名、教員300名、生徒6歳～16歳男女5,000名
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育関係者間の協議と特別活動の試験的実施を通じて、ヨルダン式特別活動実施のためのガイドラインが作成される。 2. ヨルダン式特別活動が継続実施されるための教員向けハンドブックおよび視聴覚教材が作成される。 3. 各対象校において、ヨルダン式特別活動が継続実施できる体制が整う。 <p><主な活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育省との協議の下、特別活動ガイドライン・ハンドブック、モニタリングシートを策定する。 ・対象地域の教育局職員及び対象校の教員へ特別活動ハンドブックを配布、その活用方法に関する研修後、教員が特別活動を計画する。 ・その計画に基づき、教員が各種特別活動をパイロット事業として実施。 ・教育省と教育局が協働で対象校をモニタリングし、パイロットとして実施した特別活動のレビューを行う。 <p>他対象地区の教育局・学校へ、特別活動のモデルケースを紹介する。</p>
8. 実施期間	2018年6月～2022年1月（3年8か月）
9. 事業費概算額	99,457千円
10. 事業の実施体制	教育省・公教育課及び対象地域の教育局と共に、活動実施に際してはヨルダン、日本の各教育専門家等、当団体の専任スタッフが従事する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 国境なき子どもたち
2. 活動内容	脆弱な立場にいる子どもたちが、地域社会の一員として尊厳ある人生を歩めるよう、教育や職業訓練の機会を提供。